

# こんぺき

静岡市稲門会  
会報 第3号  
2015. 12.1 発行

## 中部地区稲門会の連携を 平成27年度総会

静岡市稲門会総会が5月14日、グランディエール・ブケトーカイで開催されました。

総会では西雅寛会長が、新会員の拡大とともに各種事業が成果を上げている状況を説明し、あらゆる世代の楽しく交流できる組織へますます成長発展させていこうと参加者に呼びかけました。

また前年度会務報告、決算報告、今年度年間活動計画、予算とも議案通り承認されました。また総会

には志太榛原稲門会の杉村会長、立石智彦同幹事長、清水稲門会の渡邊高秀幹事長にも出席いただき、中部地区3稲門会の連携を確認しました。詳



総会終了後、ミゲール影山（影山満さん＝昭43年法卒）のラテン音楽を堪能させていただきました。

くはホームページをご覧ください。

## 県稲門祭 焼津で開催

平成27年度静岡県稲門祭が、志太榛原稲門会の主管で6月20日、焼津市の松風閣で開催されました。当静岡市稲門会からも30名余の会員に参加いただきました。講演会で鎌田薫総長は「大学は新しい時代に対応するため常に変革の中心にあり、OBの理解、協力をいただきたい」と述べました。

## 会員寄稿

### お遍路八十八か所巡礼の旅

石川禮一郎（昭和38年卒）

四国には「お接待」という風習があるが、お接待は援助ではなく弘法大師様に対する喜捨なのだという。お遍路さんは遠方の札所（霊場）にお参りをしてくれる存在なのだ。

老女が国道を横切り「お接待です」と百円玉を差し出してきた。お金の接待は初めてで驚いたが、その後何度も。

山の中で畑を耕していた人が、お米がとれないので甘薯といわしの煮干しをくれた。疲れた体に甘いさつまいもと塩辛い煮干しはとてもおいしかった。

四国の人たちはお接待という習慣の中で、杖を持った白装束のお遍路を見ると親切にすることがごく自然にできる。子供たちが「おはようございます、ご苦労様です」と大きな声をかけてくれる。元気がわき出て来



全行程の中で唯一海を渡る遍路道、高知県浦戸湾の無料渡船にて

行き倒れても大丈夫なように（？）  
毎日妻宛に出した絵手紙の一枚



る。

ライダー達と目が合うと次々と頭を下げ通り過ぎていった。ダンクの運転手が先に行けと道を譲ってくれた。

壱千四百キロ。50日間、雪の中を、40度を超す猛暑の中を一人黙々と歩いたが、また行きたくなかった。お四国病というそうだ。

## お仕事中、おじやまします 校友の職場訪問

政治、経済、文化、マスコミ等々様々な分野で活躍する本会会員。その職場を訪問させていただきました。お忙しいところ有難うございました。

### エイエイピーグループ

代表 土屋康一さん(昭44年卒)

総合広告商社「エイエイピーグループ」の本社ビル(駿河区森下町)におじやましました。

玄関を入ると広いロビー。熊さんや猫さんなどの沢山のぬいぐるみがお出迎えしてくれ、楽しい雰囲気の予感がします。

土屋康一代表に話を伺うと、会社の原点は、創業者(お父上の土屋金康氏)が戦後熱海で始めた旅館経営コンサルタントとのこと。

創業者は強烈な個性の持ち主で、情熱家にして努力家。旅館経営の勉強会を主宰し、全国のホテル、旅館の育成発展を指導、それぞれの経営者達から圧倒的な信頼を寄せられていました。同時期に旅館、ホテル、観光に特化した印刷物を手掛ける「熱海美術印刷社」



昔はあだ名がクマサンだったという土屋代表。ぬいぐるみとともに。

グループ傘下には、旅館経営研究所から発展した「(株)リョケン」デジタル化に対応した映像、コンテンツ

を創業し、これが(株)エイエイピー(AAP)アド、アート、プランニングの略称)に改称され発展していくことになりました。

創業者の信念は、現在でもグループの経営理念として生き続けているとのこと。

昭和56年、創業者の急逝にともない社長の重責を担ったのが土屋康一さん。創業者の理念を見える形にするという方針で量的拡大を目指し、全国へ支店を開設するとともに、昭和63年には静岡への本社移転を断行します。

ツ制作の「(株)プロフィックス」、ホテル、旅館等の建築設計などを手掛ける「(株)ミュゼオ」他があり、総社員500人、文字通り総合広告商社として拡大発展しています。

土屋代表は、会社発展のすべては創業者と現社員達の努力のおかげと謙遜しますが、並々ならぬ経営力を感じました。因みに、代表の最大の役割は、社員に対し仕事に見合った給料をしっかりと確保することとのことでした。

### サントリー静岡支店

支店長 吉野俊郎さん(昭58年卒)

五郎丸歩選手(ヤマ発)のラグビーW杯における活躍や、清宮克幸ヤマ発ジュビロ監督のトップリーグ優勝など、県内チームに所属する早稲田大学出身ラグビーマンの話話が尽きません。

こんな折、日本ラグビー界のレジェンドともなっている吉野俊郎さんをサントリー静岡支店に尋ねました。

吉野さんが静岡支店長として赴任したのは昨年。それまでは市場開発本部に所属し、全国展開の外食チェーンをサポートする役割などを担ってききました。

静岡支店の営業エリアは静岡県

内。支店員30人の他、様々な部門での協力者30人を加えた約60人体制で、広い静岡県をカバーしているとのこと。ざばり、静岡支店長としてのミッションは何かと伺うと、現在4位に甘んじているビール消費量を3位まで引き上げたいとの明確な答えが返ってきました。

静岡は食べ物もうまく、人は穏やかで暮らしやすいとのこと。

ついつい話題はラグビーとなつてしまいましたが、今回のW杯での日本の活躍の要因を伺うと、まずは日本選手の体格の向上といえます。ご本人は(ラグビーマンのいかつい体躯を予想していたのですが)外見は意外とスリムな体型で、1995年サントリーが全国社会人大会、日本選手権で優勝した折、ウイングのポジションで発揮した驚異的なスピードも納得させられました。現在もワセダクラブの現役プレーヤーです。



ラグビーで培った体力と気力、人脈で県内を駆け巡っています。

## 箏曲生田流宮城派直門

### 大師範 石渡裕子（昭52年卒）

石渡さんが講師を務める清見潟大学塾「箏三味線の講座」にお邪魔しました。

有度生涯学習交流館2階の和室には琴や三味線を前にした受講生のご婦人方が約20人。ご高齢の方もちらほら見受けられました。

石渡先生が「写真を撮られても気にしないで、普段の通りにね」と生徒の皆さんをリラククスさせながら座敷を回り、それぞれの三味線、琴の音程をチェックします。



この教室は5カ月から6年目くらいの初心者ばかりとのことですが、誰もが頬を上気させることですが、誰が頬を上気させながら、日本古来の楽器に懸命に取り組む様子は、とても素晴らしい心地よいものでありました。

同大学塾では他に18年キャリアの方々のクラスも指導しています。

石渡さんはお母様の後を継いで二代目で、6歳6ヶ月で初舞台を踏んでいるそうです。早稲田大学入学も、神楽坂の家元のもとに通う条件で許されたとのこと。三味線を抱え大学の授業に出て、その

まま稽古に行くこともあったとか。

常葉大学短期学部では非常勤講師として「器楽合奏・箏」の講座を担当、中高校部で部活動顧問講師、また静岡市スペシャリスト派遣講師として市内小中高生に教えるなど、多忙な毎日です。

それにしても、小学生から高齢者までという生徒さんの年齢の幅の広さには驚かされますね。

平成28年の当稲門会新年会（2月12日）では新年にふさわしい箏曲をご披露いただくことになっています。ご期待ください。



来年、平成28年10月16日、静銀ユーフォニアホールで、石渡さんの「箏曲・地唄演奏会」が開かれます。生徒の皆様方も出演します。

## 稲門親子 共に抱く早稲田魂(?)

### 早稲田びいきの家庭

#### 川島康孝さん（昭33年卒）

由紀さん（平2年卒）

父の出身校でもあり、早稲田びいきの家庭で育ちましたので、小さい時から大隈講堂や銅像の立つキャンパスの雰囲気は慣れていました。

現在は父の経営する株式会社でおで、私も取締役として、消費者の皆様においしい塩をお届けするよう頑張っています。

大好きな父には、「紺碧の空」をいつまでも一緒に歌えるよう元気でいてほしいと願っています。



由紀さんと康孝さん。6月に焼津開催の「県稲門祭」の折のツーショット

### 卒業50年で家族会

#### 金原壯治さん（昭39年卒）

一隆さん（平8年卒）

私の親父は静岡時代、投擲で団体などで活躍した陸上の選手だったため、ロサンゼルス五輪三段跳び金メダリストの南部忠平さんが、早大に進学するよう説得にわが家まで来たとの話です。商売屋に大入学は断念したとのことですが、



中央：壯治、後列左から三人目：一隆

その代わり私と息子（一隆）が早大に入ったことになりました。心の中では三代続けての稲門と思っています。

息子はSBSの報道現場で忙しく走り廻っており、普段はゆっくり話をする機会もありませんが、一昨年（平13年）私の卒業50年ホームカミングデイの折、リーグロイヤル早稲田で家族会を行うことができました。写真はその折のものです。（壯治）

**こちららは早慶親子**

深澤 寿昭さん（慶応卒）  
利衣子さん（平8年卒）

慶大卒の父に誘われて初めて「早慶ビアパーティー」に出席させていただきました。私は今東京でアルバイトしながらメンタルトレーニングの学校に通っています。



（利衣子）

**OB・OG通信**

**10名で入会しました**

三井住友信託銀行静岡支店・静岡中央支店 理事・支店長

海老原正之（昭61年卒）

私、海老原と岡野裕一副支店長（昭62年卒）他、以下の当行総勢10名で入会させていただきました。青山哲也（平8年卒）、古賀照彦（平8年卒）、宮川大志（平20年卒）、関根幸太（平20年卒）、平山美由紀（平21年卒）、佐藤達也（平24年卒）、星野一輝（平25年卒）、太田麻里絵（平25年卒）です。様々な分野の方々と知り合えるのを楽しみにしています。



集合写真の緊急撮影で集まった8人です

**仲良し二人組です**

中尾雪名さん（平27年卒）

三宅美奈さん（平27年卒）

二人とも日本政策金融公庫に勤めています。私は東京、三宅さんは兵庫の出身で、転勤で静岡に来ました。二人の趣味は旅行で共通しています。勿論食べることも。おいしいお店教えて下さい（中尾）



三宅さん（右）とお寿司屋さんで

**子どもと早朝海釣りに**

桂木潤一郎さん（平14年卒）



大阪出身で、食品卸の国分株に勤めています。2年ほど前に静岡支店に赴任しました。趣味は仕事も

兼ねた飲み歩き。最近では早朝の海釣りに凝っています。写真は慌てて撮って送らせてもらいました。

**早慶麻雀大会（9月18日）**

優勝 三田会

個人優勝 疋野智男（三田会）

**早慶ゴルフ大会（10月25日）**

優勝 三田会

個人優勝 仲田明（三田会）

平成28年

**静岡市稲門会新年会**

◇別紙のように平成28年2月12日（金午後6時受付、6時半開会）、グランデイル・ブケ・トーカイ（JR静岡駅北口前）で開催します。参加申し込みは別紙申込書に記入の上、1月15日までにFAXで事務局までお送り下さい。Eメール、電話での申込みも

**お悔やみ申し上げます**

■小池次朗さん（昭37年卒）

5月12日 享年78歳

■宇佐美義夫さん（昭26年卒）

8月29日 享年89歳

■宇田川喜八郎さん（昭30年卒）

10月4日 享年83歳